

## Next Stage

## 経営基盤安定 被災児童の学習支援

少額短期保険のいきいき世代(東京都新宿区)は、東日本大震災で被災した子供たちの学習支援に乗り出した。日本最大級のボランティア団体「ふんばろう東日本支援プロジェクト」が推進している学習支援プロジェクトのうち岩手県大船渡市の末崎町と赤崎町の2会場に対し年間100万円を当面3年間寄付する。本間尚登社長は「社会貢献できる利益を安定的に計上できるようになったため」と説明する。

—プロジェクトの内容は  
「仮設住宅に住む被災地の子供たちは学習できる環境が十分ではなく、静かな環境で勉強をしたがっている。そこで、公民館などに『学び場』を作り、大学生らをスタッフとして派遣、子供たちの受験や授業の復習などをサポートしている」

—支援を決めた理由は



「子供たちが生き生きと学習に取り組み、自分たちの未来を切り開いていくことが、当社の掲げる『安心』と『やすらぎ』に満ちた社会の実現と持続的発展への貢献につながると判断した。3年間の支援を打ち出しているのはわれわれだけ。学習の場を『寺子屋いきいき世代』と命名した。子供たちを中心に、地域のあらゆる世代が集う場に

ほんま・なおと 獨協大卒。1975年日本通運入社、2004年ユーリーグ入社、07年いきいき世代を設立し、同時に社長就任。61歳。東京都出身。

してもらいたい。そして学習支援の輪が広がっていくとうれしい」

—社会貢献できる経営基盤を構築できた

「2012年3月期で契約者は3万人を突破し、3年連続で最終黒字も達成できた。安定した利益を計上できる経営基盤を作ることができたので、社会貢献活動への取り組みを策定した『i

## いきいき世代 本間 尚登社長

(愛) 世代応援プログラム』の一環として、震災がらみで社会貢献を行うことにした。最終利益の1~2%を使いたい」

—今後の事業展開は

「シニア層をメインマーケットとして顧客開拓を図ってきた。なかでもメインとなる雑誌『いきいき』読者のさらなる深耕に取り組むとともに第2、第3の柱となるマーケット開拓に注力する。このため生損保経験者を採用して営業体制を強化。代理店活用にも乗り出した。生

損保を扱っている代理店のほか、シニア層を顧客として抱える葬儀関連や旅行会社など企業・団体と連携を図っていく」

—商品の魅力は

「死亡保険『あんしん世代』、医療保険『新しいいきいき世代』とも、シニアが必要とするものだけに特化しておりシンプルで価格も手頃だ。付帯サービスも充実しており、24時間無料電話相談など健康への不安や疑問をサポートするサービスを無料で利用できる」(松岡健夫)

## ■会社概要

▷本社=東京都新宿区神楽坂4-1-1

▷設立=2007年7月

▷資本金=3600万円

▷従業員=32人

▷事業概要=死亡保険、医療保険を扱う少額短期保険業。